

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成21年12月22日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872100409		
法人名	株式会社 ありが園		
事業所名	グループホーム ありが園	ユニット名	A棟
所在地	〒311-1201 茨城県ひたちなか市阿字ヶ浦187番地45		
自己評価作成日	平成21年7月6日	評価結果 市町村受理日	平成21年12月17日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年8月27日	評価確定日	平成21年11月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

御利用者様一人一人ができる事、したい事をできる限り対応し、家族的な雰囲気の中で楽しく穏やかに生活して頂ける様支援しています。

- ・毎日の散歩(目の前の海へ)や家庭菜園作りを通し日々活動的に生活して頂く。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

海岸沿いの静かな環境に恵まれた地域で利用者が本人らしく暮らせるよう職員が一丸となって生活の支援をしている。

地域のボランティアや中学生、高校生の介護体験実習を受け入れるとともに、小学校から給食会や音楽会への招待、地域の祭りへの参加など積極的に地域の人々と交流している。

共用空間の食堂兼居間はユニット間の仕切りを取り除き、イベント開催時などで集まり易いよう工夫している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月の定例会で理念に基づいた方向で話し合い、実践につなげる。	理念に「家庭的な環境と地域住民との交流の下で、その人らしく日常生活を営むことが出来るように支援する」ことを謳い、管理者と職員は定例ミーティング時に理念に基づいた話し合いを行うとともに、胸章に理念を携帯するなどにより共有し実践に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のボランティア依頼や散歩中の挨拶、声かけなど日々交流を深めています。 地域自治会や近隣業者とのつながりにも努力しています。	地域のボランティアや中学生、高校生の介護体験実習を受入れている。 利用者は小学校から給食会や音楽会への招待を受けたり地域の祭りへ参加するほか、散歩中の挨拶や声かけなどで地域の人々と積極的に交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の集まりなどに出向き、認知症に対する理解や対応、支援方法などをパンフレットなど配り正しく理解していただける様に活動している。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方々や利用者の家族の方へ交替で来園していただき、園の活動やサービス内容、意見交換で安心していただき更なる向上に活かしている。	運営推進会議は利用者や家族等の代表、行政、地域の代表、同業他事業所の管理者などで2ヶ月に1回開催している。 会議ではホームの運営報告や地域の状況について話し合い意見交換をしている。 議事録は作成しているが、会議内容を職員に周知するまでには至っていない。	運営推進会議の内容を職員に周知するとともに話し合い、出た意見や外部評価で明らかになった課題の改善に取り組み、サービスの質の向上に活かすことを期待する。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	推進会議の場を借りて、自治会や地元派出所の方、近隣の方々と情報交換し協力関係を築けるよう努力しています。	市担当者とは日頃からホームの実情やケアの取組みを報告し理解を深めてもらうとともに、情報交換を行い協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中はほとんど玄関の戸は開いていて出入り自由になっています。(夜間のみ施錠します。見守りながらですが、利用者自身が戸締りをしてきています。)	管理者と全職員は研修やミーティング等で話し合い、身体拘束の弊害を理解するよう取り組んでいる。日中は玄関を施錠せず見守るなど、職員は玄関の施錠を含め身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修への参加や毎回のミーティングでの話し合いで少しの実態も見逃す事の無い様注意深く防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護申請者入居の為、学ぶ機会も多く理解も出来てきていると思います。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	親切でいねいな説明と安心してまかせていただける様、十分な理解と納得を図っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	誰もが利用出来る様投書箱を設置している。又面会時要望や不満などを伺っています。	ホールに苦情相談受付窓口を掲示するとともに、玄関に意見箱を設置している。 重要事項説明書に事業所や第三者機関の苦情相談受付窓口を明記し、契約時に説明している。 管理者や職員は家族等の面会時に積極的に意見や要望を聞くように努め、出た意見等を運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティングや個人面談などで意見や日頃の思いなどを聞いて考えています。	管理者は毎月の定例ミーティングや個人面談などで職員の意見や提案、日頃の思いを聞く機会を設け、出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が安心して働ける様に不満やストレスなど常に耳を傾け、話しやすい場を作り、年何回か食事会やイベントを開きそれぞれ意欲の持てる様努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修や自己学習への働きかけをして上の資格を取得してほしい。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	イベントに声かけし交流を図り、他施設見学や勉強会にも参加しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人自身の話や不安、要望を親身になり聴くよう努力する。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	何度か面会や自宅訪問しご家族の不安、要望に耳を傾けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	園のサービス方針を説明し本人と家族の必要とする支援を見極め他のサービス対応にも努める。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生経験上色々な事を教えていただいております。職員も意見など受け止めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の不安、喜び、楽しみ、希望など日々の生活を記録に残し、大切な家族関係を保ちながら情報交換し共に支えて行ける努力をしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の大切な思い出の写真等も持込んでもいただき、馴染みが続けられる様努力している。	家族等や友人のほか、昔勤めた会社の仲間がボランティアとして来訪している。 馴染みの美容室や墓参りに家族等や職員が同行し、馴染みの人や場所との関係が継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	生活を共有しあいながら、助け合い楽しく暮らせる様、職員が声かけや雰囲気作りに努力しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も足を運んでいただきありがとうございます。感謝しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人のニーズをできる限り尊重し暮らしをしていただける様検討している。	日々の暮らしの中で利用者と職員が1対1で話しをする時間を設け、希望や意向を把握し支援するよう努めている。 意思の疎通が困難な利用者は、見守りをしながら利用者本意に暮らせるよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントシート等を活用したり本人やご家族様から情報を収集する様努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送り、日々の記録、バイタルチェック等を通し現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミニカンファ、ケアカンファを变化に応じ開き、ニーズに応えられる様ケアマネを中心に作成している。	介護計画は利用者や家族等と話し合い、要望等を聴いて作成するとともに定期的にモニタリングを行い、ミーティングやカンファレンスを開催し現状に即して見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録の内容方法等を検討しより良いものを作る。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ショートステイの受け入れ		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	小、中、高の介護体験学習の場を提供しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	それぞれの希望の主治医です。当園提携医も持っています。	協力医療機関による月2回の訪問診療が行われるとともに、利用前のかかりつけ医への受診や協力医療機関に無い診療科目の受診を支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置し日常の健康管理に努め訪問看護師との情報交換を密にし、医療支援をしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	提携医療機関なので配慮していただいています。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	見取り等家族や本人医師等随時話し合って検討しています。	<p>看取り介護実施要綱を作成し重度化や終末期における方針を説明し、早い段階から家族等と話し合うよう努めている。</p> <p>職員は重度化した場合や終末期のあり方についての対応方針を共有している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	応急手当法の研修でスタッフの手技の向上に努めています。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	学校や近隣、商店、派出所等に声かけ働きかけています。	<p>消防署の指導のもと年2回避難訓練を実施するとともに、非常時の対応マニュアルを作成している。</p> <p>食糧や飲料水、医療品を備蓄している。</p> <p>災害時に地域の人々の協力が得られるよう働きかけ、近隣の旅館の承諾を得られたが、一緒に訓練を実施するまでには至っていない。</p>	地域の人々と一緒に避難訓練を実施し、災害時の協力体制を築くことが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーには常に心掛け個人記録も一定の場所に保管しています。	職員は利用者の排泄や入浴の誘導、日常の声かけなど一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないように十分配慮し支援している。 個人情報記録や書類等は、事務室の鍵のかかる場所に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人の思いや希望を出せる様、状況を作ったり自己決定出来る様に支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人の状態を観察しながら支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ヘアスタイルや洋服などの希望も話し合っって着替えたりしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	作る楽しみ、食べる楽しみ協力して楽しんで楽しんでいます。	利用者は職員と食事の盛り付けや後片付けなど、できることを一緒にしている。 職員も利用者と一緒にテーブルで会話を楽しみながら食事をするとともに、介助が必要な利用者には付添い支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェックリストの活用 一人一人の水分量もチェックしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケア毎日毎回実施しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄習慣を把握し誘導や介助にて自立に向け支援している。できる限り紙オムツの使用をさげ、布パンツで気持ち良く過ごしていたる様に支援しています。	排泄チェックシートを作成し利用者一人ひとりの排泄パターンの把握に努め、時間を決めて排泄の自立に向けた声かけやトイレ誘導をしている。 また、日中はできる限り紙オムツの使用を避け、布パンツで快適に暮らせるよう支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の散歩や少しでも体を動かすこと 水分補給		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人希望の日に一人ずつゆっくりと会話や歌など個人に合わせて楽しんでいただいています。	日曜日を除き、希望の時間や回数に合わせて一人ずつゆっくりと入浴ができるよう支援している。 入浴が嫌いな利用者には、声かけをしながらシャワー浴などをとり入れ、少なくとも週2回は実施できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人別に安心出来る状況を提供し気持ち良い睡眠を支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は何度もチェックして支援します。 処方の変更時は全員で確認しあい状態の変化についても注意深く観察しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食の楽しみは時々お話の中に取り入れたり希望を聞いたりしています。 お酒、たばこなどは提供していません。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩、買物など同行して実施しています。 庭の花壇や畑などは自由に散策しています。	職員は近くの海岸への散歩や買物などに同行して日常的な外出の支援をしている。 普段行けない場所へは外出計画を立て、桜や紫陽花、コスモスなど季節の花を観賞に海浜公園などに出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる方に限り現金を持たせています。 必要に応じ金銭を渡して買物をしていただいています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望により自由にできる様に支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一般家庭と変わらない様な造りになっています。	食堂兼居間はユニット間の仕切りを行き来し易いよう取り除き、イベントの時などで集まりやすいよう工夫している。 玄関や廊下などに季節の花を飾ったり、行事の写真などを掲示して、居心地よく過ごせるよう配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	その時々で気分が移動が自由にでき出入りしやすくなっています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具の持ち込みや居室の飾りつけ、今まで住んでいた様な感覚で使っていただいています。	利用者は使い慣れた筆筒などの家具や仏壇、エレクトーンなどを持ち込んだり、カレンダーや手作り品を飾るなど安心して居心地よく暮らせる居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーで足元安心 各居室入口に名前や個人に合わせたのれん トイレや洗面所も迷わない様に居室毎に設置		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="checkbox"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="checkbox"/> 1, 毎日ある <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまにある <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="checkbox"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="checkbox"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="checkbox"/> 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目標達成計画

事業所名 グループホームありが園

作成日 平成21年12月16日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営会議を活かした取り組み	会議の内容を職員に周知させ、課題の改善に取り組み、サービスの向上に活かす。	・会議録を職員全員に回覧し、周知させる。 ・外部評価の内容等もミーティングで発表し、意見を出し合い、改善し、質の向上を図る。	1ヶ月 3ヶ月
2	13	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者様が避難できる方法を全員が身につけると共に、地域との協力体制を築く	災害時に、地域の人々の協力が得られる様、一緒に避難訓練を実施したい。	・当園を理解していただくため、推進会議等に参加していただき、災害時協力会員になっていただく。 ・協力会員を増やし、一緒に避難訓練を実施する。	3ヶ月～6ヶ月 6ヶ月～
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。